



2総 第227号  
令和2年6月2日

石川町議会議長 草野 伝明 様

石川町長 塩田 金次郎

議会報告と町民の意見を聞く会にかかる要望について（回答）

このことについて、下記のとおり回答いたします。

## 記

### 1 災害対策について

#### ①防災計画の見直しについて

町民の生命財産を災害から守るため、防災対策の強化充実は不可欠である。町では、災害対策基本法第42条の規定に基づき「石川町地域防災計画」を定めているが、本町に未曾有の災害をもたらした台風第19号など、近年の災害の教訓を活かし、地域防災計画の見直しを行うこと。特に避難所のあり方については、多くの課題が生じたことから、その見直しを行うこと。

現行の町地域防災計画は、平成27年3月に改訂を行ったものでありますが、この間の国や福島県における関連法規、計画等の改正との整合性を図る必要があります。

また、近年は異常気象による豪雨災害、東日本大震災、熊本地震のように想定を超えた災害が全国規模で多発しており、本町におきましても、昨年の台風第19号による洪水被害や土砂災害など甚大な被害が発生しているところです。

こうしたことから、これまでの防災・減災対策を見直し、発災時における初動体制のあり方と、復旧に対する適切かつ迅速な対応を図れるような防災体制を構築する必要があるため、町の地域特性を鑑み、行政・地域・町民による防災対応力の向上を念頭に石川町地域防災計画の改訂を進めてまいります。

さらに、指定緊急時避難場所及び指定避難所についても、整理検討を進めていくこととします。

#### ②自主防災組織の育成について

台風第19号においては、これまで経験したことのない水害により、多くの町民が被災し、行政機能だけでは対応が難しい状況となった。このような状況下では、近隣同士で助け合う「共助」が大きな役割を持つことから、住民による迅速な安否確認や救助活動が可能となるよう自主防災組織の育成を行うこと。

「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域の方々が自主的に防災活動を行う自主防災組織の重要性が叫ばれております。大規模な災害時には、インフラ被災により消防機関など防災機関の活動が制限され、災害対応能力が大きく低下します。このような時、地域の方々が自発的に初期消火や救出・救護活動を行った地域では減災を図ることができます。また、避難生活や災害からの復旧においても地域の協力体制は不可欠です。

町といたしましては、町内各地で自主防災組織が結成され、活発な活動が展開されるように、組織の設立支援や活動への補助制度の創設等必要な支援を検討してまいりたいと考えております。

### ③災害時の情報伝達について

町民の多くから、災害の際に住民への情報伝達の役割を担う防災行政無線が聞こえにくかったとの指摘があり、行政による災害情報の伝達のあり方に課題を残した。については、迅速・的確な災害情報を提供できるよう情報伝達基盤の整備を図ると共に、より効果的な情報伝達手段について検討すること。

ご指摘のように、昨年台風第19号においては、気象条件によって防災行政無線の難聴が発生したことは事実であります。

災害時避難情報の伝達方法につきましては、防災行政無線と併用して、広報車による伝達、緊急速報メール、Lアラート、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、必要な情報を的確に発信してまいります。

町では現在、防災行政無線のデジタル化移行へ向けた機器更新工事に合わせ、戸別受信機（防災ラジオ）の全戸への貸与を計画しております。これにより、受信環境が整い防災情報の周知向上につながるものと考えております。

### ④消防団の組織強化について

消防団は地域防災の要であるが、消防団員のなり手不足が依然として続くなど厳しい状況にある。消防団は、将来にわたり地域防災力の中核として欠くことのできないものであることから、団員の確保や施設の維持に対して、十分な支援を講じると共に、自治会消防等の支援組織等その対応策について検討すること。

近年、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、消防団員のなり手不足、特に新たな担い手となるべき若い世代の団員の確保が深刻な問題になってきております。また、町外に働く団員が増えたことにより、平日の昼間に出勤できる団員が減少している実態もあります。

このような中、災害発生に対応していくためには、部の統合による組織の効率化、消防団を補完する組織の検討などを視野に入れた持続可能な組織体制への転換を図らなければならないと考えております。

## 2 農業の振興について

### ①新規就農者の育成について

農業従事者の減少傾向に歯止めがかからない最も大きな要因に少子高齢化が挙げられるが、その流れが今後ますます加速していくことが懸念されている。ついては、先進的な科学技術を取り入れたスマート農業の導入などにより、新規就農者が意欲と使命を感じることができる対策を行うと共に、新規就農者を支援する仕組づくりを進めること。

新規就農者の育成については、ICT等を活用したスマート農業の導入により新規就農者などがその経験を補い、安定した農業経営を実現するための一つの方策と捉えております。引き続き、それらを踏まえ、農業経営改善支援センターを中心とした新規就農者等の支援強化に努めてまいります。

### ②農産物の特産品化について

「売れるものを作る」ことで、より収益力の高い農業経営を目指すことができ、農業に対する生産意欲を向上させることができる。ついては、本町の農産物品目の付加価値化の向上と6次化による新たな商品の開発等を行い、農産物の特産品化を図ること。

農産物の特産品化については、本町の農業振興を図るうえで重要であります。このため、農業者や加工業者、消費者等をメンバーとした地域産業6次化推進組織を立ち上げ、商品開発や人材育成などに取り組んでまいります。

### ③有害鳥獣対策について

近年、中山間地の田畑においては、大切に育てた米や野菜などが野生動物により食い荒らされたり、掘り返されたりするなどの被害が発生している。野生動物の中でも、特にイノシシが原因だと思われる被害が多発している。これまでも、対応策を講じていることは承知しているが、農業者の生産意欲を減退させないためにも更なる強固な対策を進めること。

有害鳥獣対策については、緩衝帯の整備や侵入防止柵の設置などの集落ぐるみの取り組みを確実に実施することで、農作物被害を軽減できることが明らかとなっております。引き続き、この取り組みを推進するとともに、現在、狩猟免許所持者が高齢化等により減少しているため、若手の人材育成に向けた支援策の検討を進めてまいります。

### 3 子育て支援（保育）の充実について

#### ①保育について

子どもを安心して預けられる環境の整備は、保護者にとって安心して働け、また子どもにとっても健やかで豊かな感性を育むことができる。本町においては、認定こども園の建設が計画されているが、建設場所については、安全で安心できる場所に建設をすること。また、保護者の負担軽減や児童通所の安全確保の観点から送迎について検討すること。

認定こども園の建設にあたりましては、想定する児童数から必要とされる敷地の広さ・建物の規模についての検討のほか、児童が安全に行動できる場所であるか、児童送迎の保護者車両の対応が可能な場所であるか、安全に通所させるためにどのような方法がとれるのか、認定こども園建設により周辺地域にどのような影響を及ぼすのかといった視点に立ち、現在、関係機関と協議し情報収集に努めながら、建設に向けた検討を進めてまいります。

#### ②子育て支援について

現在、町では、子育てに対し、金銭面において多くの支援を行っているが、金銭面だけではなく、例えば、保育所における長時間保育や夏休み期間の子ども預かりなど、保護者の声に耳を傾け、保護者のニーズに即した支援について検討すること。

本町では、働いている保護者を支援するための「延長保育」の実施や子育てについて相談できる場として「ふれあい広場」を開催、また「放課後児童クラブ」や「放課後子ども教室」の充実を図りながら、放課後児童の安全で安心な居場所の提供を図ってきたところですが、現在、子育て中の保護者への情報提供の在り方について検討を進めているところであり、今後も、保護者ニーズの把握に努め、子育て支援の一層の充実に務めてまいります。

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
	防災計画・避難所の見直しを早急に進めて欲しい。	町長要望回答 1-①のとおりです。	要望	総務
	台風19号の被害原因をよく検証して、どのような治水対策に取り組むのか町民に流してほしい。	町長要望回答 1-①のとおりです。	要望	総務
	災害は、どのような形で起こるかわからない。様々な災害の形態がある。震災の教訓が活きていない。それぞれ検証作業をすることが必要ではないか。事前の準備が大切ではないか。	町長要望回答 1-①のとおりです。	意見	総務
	防災計画を早急に立案することを要望してほしい。他自治体、関係団体と連携して作ってほしい。先進地を参考に又専門家を入れて作成してほしい。	町長要望回答 1-①のとおりです。	要望	総務
	石川町ハザードマップの見直しを望む。	町長要望回答 1-①のとおりです。	要望	総務
	町防災対策の早期確立、防災センター等の設置を検討して欲しい。	町長要望回答 1-①のとおりです。	要望	総務
	台風で甚大な被害が今回あった。自主避難者の賄は自分で用意した。町としてきちんとした、地域での防災計画を立てるべきではないか。	町長要望回答 1-①のとおりです。	意見	総務
	消防組織の件についての回答は、台風19号の前の考えである。災害後は、体の弱い方、高齢者の避難誘導についてや、今後の自主防災組織の在り方が重要になってくるのではないか。	重点要望事項1-②のとおりです。	意見	総務
	自主防災組織は、実効性のあるものにしてほしい。	町長要望回答 1-②のとおりです。	要望	総務
	町の広報無線を活用していただきたい。私たちの命と暮らしを守ってほしい。	町長要望回答 1-③のとおりです。	要望	総務
	広報無線がありながら母畑ダム越水などの情報が住民に周知されなかった。	町長要望回答 1-③のとおりです。	意見	総務

災害対策について

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
災害対策について	広報無線を災害情報に活用してほしい。	町長要望回答 1-③のとおりです。	要望	総務
	災害の際、役場からの連絡を待っているために区長は避難できない。避難連絡体制の再考や県立高校に避難できるように学校開放を検討願いたい。	町長要望回答 1-③のとおりです。	要望	総務
	消防団のなり手がいない。現職消防団から、消防OBの方に参加してほしいと要望があった。	町長要望回答 1-④のとおりです。	要望	総務
	沢田地区で、OBが自主的に消防活動に参加し、けがをした事例があるが保障が十分でなかった。しっかりと保障してくれないと、活動に参加してもらいにくいのではないか。	町長要望回答 1-④のとおりです。	要望	総務
	消防団について、みなし団員について検討してみてもどうか。	町長要望回答 1-④のとおりです。	要望	総務
	消防施設が古い。団員の確保にも苦慮している。将来、山橋4つある組織は統合されるのか。設備面の充実についてはどうなのか。	町長要望回答 1-④のとおりです。	意見	総務
	農家離れを防ぐため、儲かる農業の推進をしてほしい。	町長要望回答 2-①②のとおりです。	意見	農政
	新規就農者について触れていない。新規就農者の確保は重要である。ユーターン、アイターンを議会でも取り上げてもらい新規就農者の確保について進めてほしい。	町長要望回答 2-①のとおりです。	要望	議会
	農業後継者が不足している。行政はどのようにして農家を支えていくのか。	町長要望回答 2-①のとおりです。	意見	農政
	振興作物の取り組みについては回答が抽象的ではないか。	町長要望回答 2-②のとおりです。	意見	農政
インシジョン対策について他町村ではやっていないような対策を検討してほしい。どのあたりが一番被害がひどいかなど、アンケートを取ったりしてほしい。	町長要望回答 2-③のとおりです。	意見	農政	

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
子育て支援の充実について	<p>第二保育所の水害も不安である。安心安全な新しい保育所を作ってほしい。</p> <p>子育て支援について、金銭的な支援のみではなく、保育所の長時間保育、夏休みの保育の充実を図るなど、保育の質を上げてほしい。</p> <p>保育所の統合も考えられると思うが、子供の送迎など町民の意見を取り入れて、安心安全な新しい保育所を作ってほしい。</p>	<p>町長要望回答 3-①のとおりです。</p> <p>町長要望回答 3-②のとおりです。</p> <p>町長要望回答 3-②のとおりです。</p>	意見	教育
			意見	教育
			意見	教育

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
災害関係	町長から、お見舞いと復興への意気込みを無線で流してほしかった。	広報いしかわでお見舞いと復興のあいさつを掲載させていただきましたが、無線での広報については検討させていただきます。	要望	総務
	湯郷渡には公会堂があるが、避難所になっていない。橋を渡って自治センターへ行くより公会堂の方がいいのではないか。	避難所及び避難場所として適していることを再度確認し、地域防災計画の見直しに併せて検討してまいります。	意見	総務
	グループホームいしかわの入所者の避難について、町民に協力してもらったが非常に大変だった。	災害時の要配慮者の避難誘導、情報伝達の方法等につきましては、今後、地区の防災計画の策定支援の中で協議検討させていただきます。	要望	総務
	今後は自主防災組織に、ヘルメットや合羽などの物品の準備も考えてほしい。	要綱により組織結成初年度にヘルメット、長靴の助成を行っております。	要望	総務
	下矢造地区は、急傾斜災害や土石流の起きる地域として指定されている。今回の災害で6世帯ほど避難した。急傾斜地の防災対策について早急に安全対策を講じられるよう町・県に要望してほしい。	災害警戒情報を参考に早期の避難情報の発令について配慮していきます。安全対策工事などハード面の対策については、県に引き続き要望してまいります。	要望	総務
	台風19号の被害を受けた。組織改革は聞いているが、職員だけで作って今後の災害に対応できるのか。	地域における地区防災計画が重要であるため、各地区で作成が進むように支援してまいります。	意見	総務
	災害に対する対応について、国・県に対する陳情・要望を取り組んでほしい。	道路、河川、農業施設等の早期の災害復旧のため、国県に対し要望・陳情を実施して参ります。	要望	総務
	住民は災害対策工事を待っているだけしかできないのか。	道路、河川、農業施設等の早期復旧のため、国県に対し要望・陳情を行うと共に、町管理施設については、鋭意復旧に向け努力してまいります。	要望	総務
	町民の切迫した状況に対し、回答が欲しいと思う。	被災された皆様には、生活支援、税等の優遇等の支援策を有効にご活用いただきますようお願いいたします。また、災害復旧工事を進め、一刻も早く日常を取り戻す努力をしてまいります。地域防災計画を見直し、防災減災対策を図ってまいります。	要望	総務
	今後大水が出た場合対応出来るのか。全国的に時間当たり100mm以上の降雨の場合もあるがどう対策するのか。	事前の気象情報により警戒を強化していくとともに、早期の避難情報の発令について検討してまいります。	意見	総務



『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
災害関係	災害に対する補償申請の仕方がよくわからないという話が出た。説明会を開くなど積極的に町民に対応してほしい。	被災者支援の内容について、住民への周知が十分ではなかったため、今後は効果的な周知に努めてまいります。	要望	総務
	石川町はメディアを活用するのが下手である。メディア等の利用でアピールすべきである。	災害広報については、防災無線のほか、緊急速報メール、さらにはテレビ、ラジオを活用し、町民の必要に即した情報を的確に提供してまいります。	要望	総務
	災害等における役場に行っでの申請方法は、無駄足にならないように願いたい。	被災者支援の内容について、住民への周知が十分ではなかったため、今後は効果的な周知に努めてまいります。	要望	総務
	学法石川高校を避難所にしてほしい。	浸水想定区域及び土砂災害警戒区域内に位置するため、指定することはできないと考えております。	要望	総務
	防災に関する区長会を開いて、総意を図り、区長会を後ろに物を申してはどうか。	地域防災計画の見直しと併せ、地区防災計画の策定支援の際、区長、区長会の協力を得ながら、防災減災対策を図ってまいります。	要望	総務
	災害等の際に、北町には4か所の避難所があり、避難場所の看板もあるが、今回は夜間でもあり機能しなかった。泉石のグラウンドに入って行けるように県に依頼し、協力体制を図ってほしい。	泉石高グラウンドは緊急避難場所に指定しているため、緊急避難は可能であります。	要望	総務
	けがをしても衛生用品がない。町ができること、住民ができることを考えることが大切ではないか。	町が策定する地域防災計画のほか、地域で考え、実践できる地区の防災計画が重要であると考えております。町がすべきこと、地区住民でできることを議論し、より良い防災減災対策を図ってまいります。	意見	総務
	島内地区は、陸の孤島になった。皆さんで考えなければならぬ事項があると思う。	町が策定する地域防災計画のほか、地域で考え、実践できる地区の防災計画が重要であると考えております。町がすべきこと、地区住民でできることを議論し、より良い防災減災対策を図ってまいります。	意見	総務
	役場の中に防災対応の組織があると思うが、災害時にトップである町長がリーダーとなるよう要望する。	町長が災害対策本部の本部長となり、災害対応にあたります。	要望	総務
	台風被害での問題点を今後活かして欲しい。	様々な事象、対応について検証を進め、このたびの経験を教訓としてまいります。	要望	総務

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
災害関係	率先避難の言葉がある。住民側にはないと言われている。地区をまとめる区長は、大変である。	防災計画の見直しの中で、町(災害対策本部)と各自治会との役割分担、情報収集、情報発信体制の整理・強化を行うとともに、防災訓練等を通じて、発災時の初動対応について周知徹底を図ってまいります。	要望	企画
	災害ごみをすべて回収するという判断だったはずだが、事業所は個別でやるように変更になった。お金もかかるし、なぜ事業者の災害ごみは回収してくれないのか。	事業活動により生じた産業廃棄物は、関係法令(廃棄物処理法等)により家庭ごみとしては収集できません。	意見	生活
	災害の際、家庭のゴミ以外は、自分で処理して下さいと言われたが、災害時なので一般、産業廃棄物区分なく処分して欲しい。	事業活動により生じた産業廃棄物は、関係法令(廃棄物処理法等)により家庭ごみとしては収集できません。	要望	生活
	被災ごみはすぐに出る。その対応を常に考えておかなければならない。たとえば、仮罹災証明を発行して責任シールを貼るとか、一定の対策を図ることは必要である。	災害時のごみ収集方法については、円滑な処分が行えるように今後検討する予定です。決定次第、町民の皆さんにお知らせいたします。	意見	生活
	研修を受けた分別収集者がいないことも原因である。退職者も地域に恩返しということも考えて、一定期間研修制度を設けておくなどして取り扱ってはどうか。	一般的な家庭ごみの収集は、町の許可業者が行っていますので、問題はありませんが、災害時は、一般ごみに災害ごみの収集が加わりますので、収集が間に合わなくなります。円滑に災害ごみが回収できるような対策を今後検討いたします。	意見	生活
	責任シールをもった方がいなければならない。現場責任者を要請しておくことが必要である。	災害時のごみの出し方などは、日頃から町民の皆さんにお知らせする必要がありますと考えております。ゴミ出しのルールが決まりましたら、広報等を通して町民の皆さんにお知らせいたします。	意見	生活
	今後水害が発生した際のゴミ収集は、搬入者の住所、氏名の記載を指導、徹底して欲しい。	災害時のごみ収集方法については、円滑な処分が行えるように今後検討する予定です。決定次第、町民の皆さんにお知らせいたします。	意見	生活
	土砂を取り除くなど、喫緊の対策が必要ではないか。	河川災害の防止を図るためには、河道の土砂除去による断面を確保することが効果的な対策であると考えられます。このため、県との連携強化を図りながら、緊急浚渫事業等の補助事業を活用するなど、堆砂等の除去を進めて参ります。	意見	都市
	台風19号の被災地域においては、河川改修や浚渫工事など、安心できる施策を積極的に取り組んで欲しい。	台風19号の被災を踏まえ、県はじめ町では被災箇所の復旧を優先して取り組むとともに、今後の河川災害の防止を図るための、河川改修事業や緊急浚渫事業等を推進しているところです。	意見	都市

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
県石関係	県立石川高校存続についての回答が存続と関連してないのではないか。	高校の存続については、県教育委員会に対し直接存続の要望を行うことのほか、地域が一丸となり、就職支援など学校の魅力を高める取り組みを行うことで入学者数を増やす取り組みが大切であると考えております。	意見	総務
	県石の存続について回答になっていないのではないか。町長から回答をもらって出しているが、本当にこれで良いと思っ出しているのか。	高校の存続については、県教育委員会に対し直接存続の要望を行うことのほか、地域が一丸となり、就職支援など学校の魅力を高める取り組みを行うことで入学者数を増やす取り組みが大切であると考えております。	意見	総務
	県立石川高校の存続の検討についてどの様な検討をしたのか。どのような対策を考えているのか。	高校の存続については、県教育委員会に対し学科の新設などの要望を行うことのほか、町、地域が一丸となり、就職支援など学校の魅力を高める取り組みを行うことで入学者数を増やす取り組みを進めてまいります。	意見	総務
	町の人口流出について、町以外から通勤している役場職員はどれくらいいるのか。採用する段階で、町に帰住するという決まりをつくるべきではないか。	居住の自由を制限することは、難しいと考えております。	意見	総務
総務関係その他	役場の組織改革をするなら、プロも入れる事を要望する。	組織機構の改革にあたっては、内部的には委員会や庁議等で議論し、議員の皆様からの意見を頂戴しながら行つたところです。	要望	総務
	機構改革は自身が大事である。ビジョンなり実践力を持ち取り組んでほしい。	この度の機構改革は、第6次総合計画「共に創る幸せ実現のまち」の実現に向けた機能的で効率的な組織、災害に強い安心・安全なまちづくりを構築する組織、町民にわかりやすい組織等を目指すものです。	要望	総務
	非常勤の対応について、国は補助を出す、不足することが問題となっている。職員の給料は高いので考えてほしい。	類似同規模町村の水準を見極めながら、適正化に努めてまいります。	意見	総務
	石川町役場はスピード感が無いと他町の人から聞いているので、改善を望む。	町民福祉の向上のため、スピード感をもった対応を心掛けます。	要望	総務
	広報無線は2回復唱して欲しい。1回だけでは聞き取りにくい。(車騒音等。)	復唱が「うるさい」、「くどい」という意見もあることから、お知らせする情報の長短、重要度により判断させていただきます。新たに貸与する防災ラジオは、直前の放送のみ聞き直しが可能となります。	要望	総務

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
企業誘致関係	中野地内も含めて工場誘致についてどうなっているか。	令和3年1月には、藤沢工業用地において株式会社エヌ・ティー・エスが、同年2月には、三井金属アクト石川工場跡地において朝日機工株式会社が新規操業を予定しております。	意見	企画
	企業誘致について、大井製作所跡地に誘致する話はどうなっているのか。	上記の回答を参照願います。	意見	企画
	企業誘致について、どのような努力をしているのか。早く、まとまった回答をしてほしい。	福島県企業誘致担当課と町内の工業用地情報を共有し、優良企業への紹介をいただいているほか、紹介企業への訪問、企業誘致セミナーへの参加を行っております。	意見	企画
	企業誘致についても担当で回答するものではない。企業との懇談会をやったのか。	上記の回答を参照願います。	意見	企画
交通関係	企業誘致関係はどうなっているのか。	上記の回答を参照願います。	意見	企画
	地域交通の整備について、町中で実証実験が終了し、沢田地区においてオンデマンドの実験を行うとのこと。各自治体でいろいろな実験を行っているので把握してほしい。	デマンド交通実証実験を平成30年11月から2カ月間実施し利用実績は5名でした。今後は、利用者目線のサービスや運行方式を他自治体事例を参考に検討してまいります。	意見	企画
	地域の交通は重要である。中山間地においても同様である。自動運転の実験の実証実験のようなものを、実施してはどうか。	地域と町が実証実験の推進体制を構築し、利用者把握とニーズ調査を踏まえ、上で、予約型乗り合いタクシーなど、新たな公共交通サービスを検討してまいります。	意見	企画
	交通手段のない問題に対しては、タクシー・チケット・バスチケットを利用してはどうか。	令和2年度は、高齢者の移動手段確保と交通不便解消を目的に、高齢者タクシー料金助成事業実証実験、重度心身障がい者タクシー料金助成事業を実施しております。	意見	企画
企画その他	せつかく良い取り組みをしても発信する力が少し弱いように思う。石川の良い所をアピールする力をもっとあれば若い人達にも嬉しい町になるかと思う。	町ホームページや携帯電話等の利便性向上を図り、報道など関係機関と連携を密にしながら町の情報発信を強化いたします。	要望	企画
	毎月、広報いしかわを見ると人口が減少しているのか、若者が残れる状況を作ってほしい。	新たな雇用の場の創出のための企業誘致活動や定住支援のための住宅補助等の支援など、若者が定住できる施策を継続して取り組んでまいります。	意見	企画
	各課で対応しているものに対して、スケートセンターに対して回答になっていない。担当課で回答ができるものなのか。	本件につきましては、皆様からいただいた意見・要望等のうち、町議会が要望書として取りまとめた事項を除く項目の今後の対応方針等について、各事務事業を所管する立場で回答しておりますので、ご理解願います。	意見	企画

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
税関係	税の未納問題について、取り組み状況がどうなっているのか。	滞納がある方については、家庭状況を聴取し納税の意義を含め、その方にあった徴収を行っています。毎月の返納指導をはじめ、額の上乗せ、電話や臨戸訪問など、1日も早く完納になるよう努めております。なお、納付等が難しい方については執行停止等により適正な債権管理を心掛けております。	意見	税務
	病院について、近隣5町村にとっても必要な医療機関であるのでぜひやってほしい。	病院の誘致については、土地を提供することを基本に検討を進める方向です。	意見	保健
病院関係	町長の公約である病院関係は、どうなっているか。	病院の誘致については、土地を提供することを基本に検討を進める方向です。	意見	保健
	病院は町民の関心度も高い。方向付けは町はどうしていくのか。	病院の誘致については、土地を提供することを基本に検討を進める方向です。	意見	保健
	平田中央病院がもし石川町に来た場合、中島病院はなくなるのか。	町が回答できることではありません。	意見	保健
	平田中央病院は大病院の扱いになるのか。大病院は法定外初診料がかかると思うが。	病床数が200床以下なので、現時点では初診に関する特別な徴収はないと思います。	意見	保健
	色々と大変だと思うが、多くの問題を1つずつ解決して欲しい。今の問題は、病院誘致の件だと思う。	病院の誘致については、土地を提供することを基本に検討を進める方向です。	要望	保健
福祉関係	老々介護への支援。施設入所希望待機者の対策を講じてほしい。	まずは、地域包括支援センター(26-4606)に相談してください。家庭の状況、介護が必要な人の状況により適切に対応します。	意見	保健
	昨年、モトガッコで見た光景だが、こども遊び場に小学生の子供が入れない姿を見た。遊具は、小学生でも遊べるのではないか。	モトガッコの屋内遊び場は、小学校入学前の乳幼児とその保護者を対象に整備した施設です。乳幼児と小学生では、体力的に遊び方が違います。利用者の保護者の方からは、小学生と一緒にできないので、乳幼児が安全に利用できるかと評価を得ています。	意見	保健
	石川町に病院を設立するのは実際、かなり厳しいと思う。医師の確保ができるのか。それよりも、もっと話し合っほしい現実的な問題や課題を検討してほしい。少子化問題にもっと重点的に考えてほしい。子どもが増える環境を整えらることもに、子育て支援。働く場所、安定安心して生活できる場所、子どもを産んで子育てしやすい環境を第一に考えてほしい。	予防接種の無料化、保育所を利用しない3歳未満の児童に対する月額1万円の支給、保育所の給食費の無料化、小中学校の給食費の半額補助などの経済的支援と妊産婦及び乳児の全戸訪問、子育てサロンや子ども遊び場の設置、保育施設については公立4、民間3施設あります。また、子育て・若者世帯住宅取得補助を行い、住宅取得を支援しています。住民のニーズは多様ですので、具体的に何を求めているのか意見を頂ければと思います。	意見	保健

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
福祉関係	介護職員の不足が恒常化しているため、支援施策を講じて欲しい。	町では、介護職員養成研修(初任者)受講者に対して補助金を支給し、介護職に従事することを支援しています。また、介護の事業所等に勤務する職員等との意見交換や研修会等を実施しています。	要望	保健
道の駅関係	道の駅について、これ以上過疎が進まないよう誇れる石川町になるよう真剣に取り組んでほしい。	道の駅を地域活性化の拠点と位置付け、行政が抱える様々な課題を解決する場として、重要な存在意義を持つ施設となるよう整備を図ります。	意見	農政
	道の駅について必要性を訴えてきた。農・商・工連携して実現してほしい。	道の駅を地域活性化の拠点施設となるよう、農・商・工連携して整備を図ります。	意見	農政
	道の駅について、農産物の販売や農家の育成について、町はどう考えているか。	道の駅の農産物等直売所の整備にあたっては、農業者等の新たな販路として位置づけ、高品質な農畜産物や、本町ならではの加工品・特産品等の販売により、農業者等の所得向上に繋がります。	意見	農政
	道の駅について、生産者も関わってくる。お金が取れる農業をやれるよう支援してほしい。	道の駅農産物等直売所の整備にあたっては、農業者等の新たな販路として位置づけ、高品質な農畜産物や、本町ならではの加工品・特産品等の販売により、農業者等の所得向上に繋がります。	要望	農政
イノシシ関係	対策しているにも関わらずイノシシが増えているのは、原発事故が影響しているのではないかと(食べられないため)。東電に請求するなど、要望してほしい。	イノシシ増加については様々な要因があるため、引き続き、地区の状況を把握しながら被害対策に取り組んでまいります。	要望	農政
ダム関係	石川郡に一つ、イノシシの処理施設を東電に作ってもらえないのか。	イノシシの処理施設の必要性について、今後検討してまいります。	意見	農政
	治水機能のあるダムにしてほしい。	千五沢ダムは、現在、治水機能を付加するための再開発事業を実施しております。	要望	農政
	ダムの水の放流に際し、サイレンが鳴らないし連絡もなかった。ダムの状況が入ってこなかった。あれば備えが出来る。	台風などの影響でダムの増水により越水の可能性がある場合は、今後も広報無線等により周知してまいります。	意見	農政

# 『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
農政その他	<p>シイタケの原木を採って、売っていた。原発の影響で出荷停止になっている。今後どうしたらいいのか。何か方法を決めてくれないと、前に進めない。国・県に対して要望してほしい。</p> <p>町の特産物として8カ月経過しているが、高収益の農産物について検討したことはあるのか。</p>	<p>今後も県に対して本町の現状を伝えてまいります。</p> <p>農業所得の向上を図るため、高収益作物の導入や高付加価値化のための加工品作り等を推進しており、昨年はイチゴ栽培、今年度は加工品開発に対して各種事業により支援しております。</p>	意見	農政
住宅関係	<p>中野地区は利便性が高い。遊休地がたくさんあるので、若者が定着するよう町が開発して安く分譲してほしい。</p> <p>沢田自治センター跡地の地質調査はどうかしているのか。</p> <p>更なる住宅政策を実施し、人口減少を止めて欲しい。</p>	<p>本町における分譲開発は、谷津・古館地区で実施したものの、未だ5区画が売却できずにあります。こうしたことから現在では、民間宅地開発事業や子育て世帯・若者世帯の住宅取得への補助金交付などの支援事業の創設を図り、子育て世帯や若者世帯の定住促進を図っております。</p> <p>昨年実施した地質調査では、平場面積の約1/3において地表から深さ65cm～1m75cm地点より下が岩盤であるとの調査結果が示されたところです。</p> <p>町では現在、民間宅地開発事業や子育て世帯・若者世帯の住宅取得への補助金交付などの支援事業を創設するなど、子育て世帯や若者世帯の定住促進を図るための、住宅施策を推進しているところです。また、空家を有効活用するための空き家バンク制度の準備を行っているところであり、今後も新たな住宅政策について検討してまいります。</p>	要望	都市
道路関係	<p>母畑郵便局から歩道をつくるための測量は終わっている。石川で母畑だけ歩道がない。整備を願いたい。</p>	<p>主要地方道飯野三春石川線の歩道整備については、過去に県が測量調査を実施した際、土地所有者の合意形成が図れない等で土地の境界を確定できないことから整備できずに、今日に至っているものと認識しております。</p>	要望	都市
都建その他	<p>学法石川が野球場を作りたいと聞いている。町で総合運動公園を利用させたらどうか。</p>	<p>石川町総合運動公園の用地につきましては、施設整備計画を策定し認可を受け、国庫補助金及び事業債を活用した中で取得したものでありますので、他事業への利活用においては困難であります。</p>	意見	都市

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
学校関係	沢田小学校は、複式となる。継続するのか。総論では、そうであるが、明日の問題である。	沢田小学校に複式学級が生じていることから、今年度内に方向性を決定していきたいと考えています。	意見	教育
	沢田小学校2年3年が複式学級になるという問題がある。一部沢田から石川小学校に行っている児童もいる。現在迷っている家庭もある。保護者は困っている状況もある。	沢田小学校に複式学級が生じていることから、今年度内に方向性を決定していきたいと考えています。	意見	教育
	総論ではわかるが、学区はどうなっているのか。	児童・生徒が住所を有する区域により通学する学校が定められていますが、家庭の事情等により区域外への通学が認められる場合があります。	意見	教育
	沢田小の継続について、方向性を早く決めて欲しい。	沢田小学校に複式学級が生じていることから、今年度内に方向性を決定していきたいと考えています。	要望	教育
保育所関係	児童クラブ(野木沢)の充実を図ってほしい。学校が終わった後に安心して預けることができるよう空き教室の利用や地域の公民館の活用を検討してはどうか。	野木沢小学校の児童については、「放課後子ども教室」や地域のボランティアにより運営されている「野小っ子クラブ」で放課後の児童の居場所を提供しています。	意見	教育
	今回の水害で被災した第二保育所の安全性について、確認をして再開したのか。	第二保育所は、被災後、床の修繕や消毒を施し再開しています。今後も水害で被害を被る恐れもあることから、避難訓練を実施するなど、児童の安全確保に努めていきます。	意見	教育
モトガッコ関係	モトガッコを利用しているが、公的な機関は使用料をとるべきではない。	公的な機関であっても、管理運営費等が必要となりますので、受益者負担はやむを得ないと考えております。	意見	生涯
	図書館は素晴らしいがPR不足ではないか、また、インターネットやDVD等が見られる視聴覚室を設けるなど、誰もが利用しやすい環境を作って欲しい。	図書館のPRは広報いしかわや町のホームページ等で行っております。インターネットの使用については、早期に整備を図りたいと考えておりますが、視聴覚室については、スペースが確保できないため今後検討してまいります。	要望	生涯
総合運動公園関係	クリスタルパークは、今後スポーツ大会等で使うが、災害ごみの撤去は難しいのか。駐車場は使えないが、体育館は使えるのか。	クリスタルパークの駐車場及び多目的グラウンドは、災害ごみの仮置き場のため利用できない状況となっております。ごみの搬出を進めておりますが、今後は、家屋の公費解体に伴う解体ごみの搬入が予定され、駐車場の確保が難しい状況となっております。総合体育館については、コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言が解除され、5月25日から利用が可能となりましたが、大規模なイベント等の開催には、参加者数の上限は100人以下または、収容人数の50%以下を目安とするなど示されており、今後これらを踏まえて使用の判断をしていきたいと考えております。	意見	生涯



『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
総合運動公園関係	クリスタルパークの使用について、今年は受け付けられないと言われた。200人以上参加する大会が今後もあるのか、会場について便宜を図ってもらいたい。	スポーツ大会などでクリスタルパークが使用できない場合は、中学校などの体育施設を利用することは可能ですが、学校の行事などもありますので、できるだけ早めにご相談いただきますようお願いいたします。	要望	生涯
	総合運動公園は、災害で2年間使えないと聞いている。ゲートボールをやっているが、一時しのぎに屋内のゲートボール場が猫啼に欲しい。	ゲートボール大会などで多目的グラウンドをご利用いただいておりますが、災害ごみの置き場となっておりますので、町民グラウンド(野球場)をご利用ください。 屋内ゲートボール場については、川井地区(環境施設組合わき)にありますので、利用についてはご相談願います。	意見	生涯
水道関係	水道が八幡屋までしかきていない。水道施設、消火栓、避難所のトイレ設備をお願いしたい。	県道古殿須賀川線(八幡屋より北部方面)沿いの給水区域については、県道に沿い、字樋田、樋ノ口、小田口、天升作、又田までが給水区域となっております。給水区域の拡張については、企業会計の財政状況、地域の現状等を考慮して検討している状況であります。	要望	水道
	昨年の質問に対して一年後の今回答しているのか。	議会だよりにて、町民の意見、要望書の回答を掲載するとともに、ホームページにも掲載し、周知に努めています。	意見	議会
議会関係	各所管課対応分について、町長の基本方針が聞きたい。	各所管課対応分となっておりますが、すべて町長の決裁を得ており、町の方針であると考えています。	意見	議会
	自治協議会として、7月に町長に要望を出している。こういった提案が議員に周知され、議題にあがっているのか聞きたい。	執行部と議会は組織が違いため、町長宛に出した要望書については議会では把握しておりません。	意見	議会
	議員のなり手がいない理由をどう考えているか。	報道が実施したアンケートでは、「仕事との両立が難しい」「議員報酬が少ない」「有権者の関心が低い」「人口減・高齢化が進んだ」ことが挙げられています。	意見	議会
	町会議員は地元の代表なのか。町の代表ではないのか。地元の代表のような考えでは困る。	もちろん町民の代表であり、町民の代弁者であると考えています。	意見	議会
	同じような項目の一般質問が多い。今回の一般質問は今回災害のことばかりで偏っている。議員同士で話し合ってはどうか。	一般質問通告の際に、議長において質問内容の説明を受け調整しているところですが、同じ質問の場合は、質問の視点が違うかどうかを確認しております。	意見	議会

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
	区長より自治協議会の方が上だと認識していたが、区長の方が上なのか。	地区としての考え方がありますが、議会としていづれが上下の関係にあるとは考えておりません。	意見	議会
	過疎地域の指定になったが、過疎についてどのように考えているか。	石川町として大きな課題であると考えています。特に人口減少が顕著であることから執行部とともに対策を考えていきたいと思えます。	意見	議会
	議会としてはどのような治水対策を町側に訴えていくのか。	令和2年度において石川町地域防災計画の改訂が行われることから、議会として調査・検討してきた内容について意見を発出していきます。	意見	議会
	要望に対する回答が、元年5月31日なので遅いが、進んでいるものはないのか。	現時点での情報は把握しておりません。回答から期間が過ぎていることから現状を把握する必要はあると考えております。	意見	議会
	国県からの応援を受けるために議会からも要望すべきである。	議会として福島県石川土木事務所長へ要望書を提出しました。今後も要望していきたいと考えております。	要望	議会
	町長の政策のチェックが議会であると思うが、議会が自ら動ける行動の範囲はどこまでなのか。	予算の執行権以外は、議会として一般質問や政策提言を通して多方面に行動できるものと考えております。	要望	議会
	この報告会の持ち方として、執行部を代弁する様な回答は、いかがか。議会の活動報告を強調して、成果を多く伝えて欲しい。	次年度以降、今回いただいた意見を参照し、報告会の在り方を検討します。	要望	議会
	浄水場については、議会活動の中で見直しをさせたという成果もある。ぜひ訴えてほしい。	議会としての成果についてお知らせできる方法を検討します。	要望	議会
	今後、実態が分かり、機能していくように議会としてもチェックしてほしい。	議会としてのチェック機能が十分に発揮できるよう努めてまいります。	要望	議会
	議会報告会について、コジンマリと何か所も開くのではなくて、1か所に集めて1回の開催ではどうか。意志の統一が図られるのではないか。	ご意見として伺っておきたいと思えます。	意見	議会
	沢田小学校が複式となって統合されていくが、いじめに当たり無視されるなどのことが無いよう、合流がうまくできるよう議会の中でも方向付けを早い段階でお願いしたい。	小学校の統合については、教育委員会において検討されることと思いますが、議会としても児童のための意見を発出してまいります。	意見	議会

議会関係

# 『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
	議事録の公開(開かれた議会、透明性)はどうか。インターネットの場はない人はどうするか。	議事録は、ホームページ上で公開していますが、議会事務局において閲覧することも可能です。	意見	議会
	議会で執行部からの提案を否決したことはあるのか。病院の問題も議員の立場では入ることができないということなのか。町民の代表としているわけであるのだから、よく判断した中での決断を願いたい。	これまでで議案を否決したことはありません。病院の問題については、町の方向性が明示された時点において判断したいと考えています。	意見	議会
	意見を聞く会の基本的な考え方について。質問についての回答は今日発表ということか。町長回答と、所管課の回答があるが誰が振り分けたのか。	議会だよりにおいて、町民の意見、要望書の回答を掲載するとともに、ホームページにも掲載し、周知に努めています。振り分けについては議会において行っています。	意見	議会
	意見を聞く会そのものの存続が危ぶまれているのではないか。	議員は町民の代表であることから、町民の意見を聞くことは議会活動の根本であるものと考えています。今後も、工夫をし町民の意見を聞く場を設けてまいります。	意見	議会
	昨年の回答が今では遅いのではないか、早く回答できないのか。	議会だよりにおいて、町民の意見、要望書の回答を掲載するとともに、ホームページにも掲載し、早期の回答に努めています。	意見	議会
	分かりやすい議会だよりを出してもらいたい。	わかりやすい議会だよりとなるよう、広報常任委員会において検討いたします。	要望	議会
	今回の水害に対して議員も苦勞していると思うが、山橋の被害はあまりなかった。今回の報告会において、問題点と今後の課題について話してほしい。	台風第19号災害の復旧・復興に向けた議会活動報告書をまとめている段階であり、まとまった時点において報告したいと考えております。	意見	議会
	今回の台風19号災害で、議員で意見をまとめたと思うが、議会報告会を通しての問題点と課題は何か。	台風第19号災害の復旧・復興に向けた議会活動報告書をまとめている段階であり、まとまった時点において報告したいと考えております。	意見	議会
	議会基本条例制定について、議会の使命(役割)として、①町の具体的政策の最終決定、②執行部の行政運営及び事務事業の監視の2つをあげている。この条例がないと議員活動ができないとは思えない。条例制定のエネルギーをこの2つの使命の充実に向けるべきではないか。	ご意見の2点の充実にについては、もちろん必要であると考えておりますし、議会基本条例がないと議員活動ができないわけではありません。しかし、議会活動の原則、議員活動の原則、住民の声にこたええる活動、議会改革などを条例に明文化することにより、町民が期待する議会としての責務の発信と負託にこたえていきたいと考えております。	意見	議会
	議会ではこんなことを今回やりましたなど、分かりやすいものを出して欲しい。	議会報告会の手法について検討いたします。	要望	議会

議会関係

『議会報告と町民の意見を聞く会』参加者意見等に基づく一般要望

項目	質問内容	回答内容	区分	所管
議会関係	議会を年一回でもいいので、夜間にできないか。	以前に日曜議会を実施していた経過があります。夜間については、慎重な議論が必要であると考えております。	要望	議会
	令和になって石川町議員が活性化になってきた。町民と一緒にの対話を望む。	引き続き町民との対話を深めながら、議会活動を進めてまいります。	要望	議会
	議会は、町民の代表としての姿が見える様な行動を望む。	町民の代表としての議会活動が、町民に見えるよう行動していきます。	要望	議会
	病院に対する要望書を出しているが議会では把握しているか。	執行部と議会は組織が違いため、町長宛に出した要望書については議会では把握しておりません。	意見	議会
	議会は、町と一緒に万全な防災計画を作って、万全な対策を講じてほしい。	令和2年度において石川町地域防災計画の改訂が行われることから、議会の立場から意見を発出していきます。	要望	議会